

(別添3)

## 【大分県 大分市】

### 校務DX計画

当市は、平成29年度に校務支援システムを導入した後、令和元年度には、県内全18市町村が参加する「統合型校務支援システム共同調達協議会」において、県内統一の校務支援システム導入を主導し、市町村間異動に伴う負担の軽減を図るなど、教職員の働き方改革を推進してきました。

一人1台端末導入時には、市内全教職員及び全児童生徒にGoogle・Microsoft365のアカウントを付与し、クラウドサービスを活用した資料共有や調査・アンケートを実施できる環境を整えました。また、校内での情報共有や連絡にチャットツールを活用することで、職員会議等のペーパーレス化を進めてきました。令和4年1月に連絡配信機能等を備えた学校連絡システムを導入し、教育委員会や学校、保護者等間の連絡体制を整備して学校や教育委員会での活用を開始したとともに、令和4年4月には、学校給食費・徴収金管理システムの構築により、対象者の一元管理や口座振替を主体とした業務の効率化を図ったところです。

上記のことに加え、様々な面でデジタル化を推進してきましたが（別紙資料参照）、校務系と学習系でネットワークが分かれていることによる作業効率の低下が顕在化していることから、ネットワーク環境の見直し等が必要だと考えています。

「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえた上で、具体的な取組を次のとおり定めます。

#### 1. 校務系・学習系ネットワークの統合

当市では、物理的分離で運用していた校務系システムを令和4年度に論理的分離に変更し、校務用端末でもクラウドサービスを使用できる環境にしましたが、校務系で作成したデータを教育用端末で使用する際に、煩雑な手順を踏む必要があるという課題があります。

校務の効率化及び教育データの利活用を推進するために、いわゆるゼロトラストの考え方に基づきアクセス制御によるセキュリティ対策を十分講じた上で、校務系・学習系ネットワークの統合実現を目指します。

#### 2. 校務支援システムのクラウド化

令和4年度に県内統一の「統合型校務支援システム」を導入したことで、市町村間を跨ぐ異動となっても、操作に戸惑うことなく、成績処理や指導要録作成、グループウェアを活用した情報共有を行うことが可能となっています。しかし、オンプレミス型（データセンターサーバー上）で運用し、校務用端末からしかデータにアクセスできない仕様のため、校務に係る事務作業のほとんどを職員室で行う必要があるという課題があります。

現在のシステムが稼働3年目を迎えていることから、パブリッククラウド上での運用を前提とした校務支援システムを導入している先進自治体の情報を収集するとともに、「校務システム連絡協議会」等を通して教職員からの聞き取りを行うことで、必要な機能を満たした校務支援システム導入に向けた準備を進めます。

(別添3)

### 3. データ連携基盤（ダッシュボード）の創出

校務支援システムに登録した成績、デジタルドリルの学習履歴、全国学力・学習状況調査の結果等を統合的に俯瞰する環境が整っていないため、データ分析に基づいた計画・実行・評価・改善のサイクルの実現が難しい状況にあります。

次世代校務システム導入時に、必要な機能を備えたダッシュボードを実装することができるように、可視化が必要と考えられるデータの選別を行うとともに、最適なダッシュボードの構築方法について調査研究を行います。

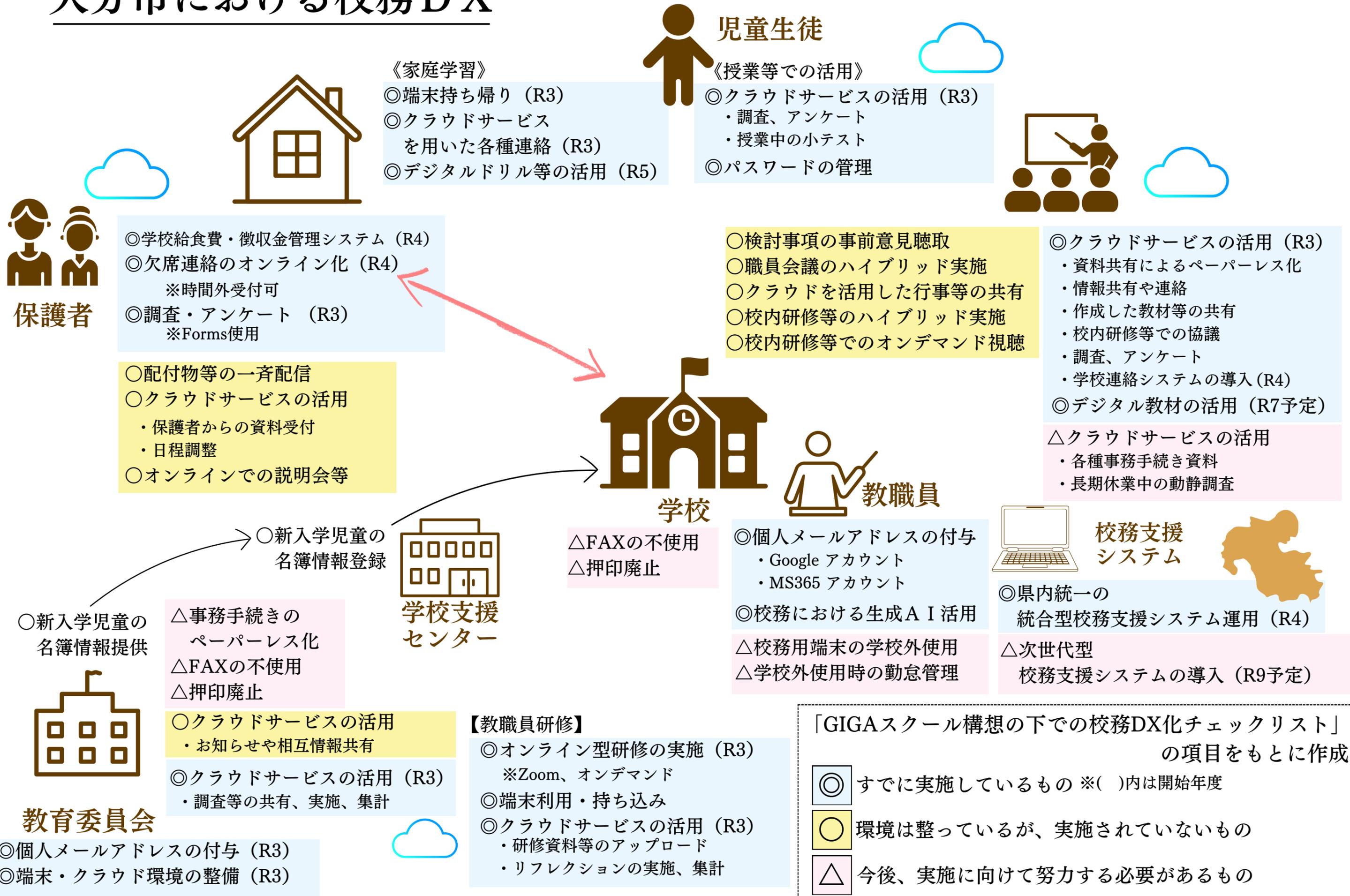
### 4. クラウドサービスの活用推進

当市では、令和2年度に独自ドメイン（oit.ed.jp）を取得して全教職員・全児童生徒のアカウントを作成し、Google 及びMicrosoft365 にユーザー登録することで、クラウドサービスを活用できる環境を整備しました。クラウドサービスを活用することで、様々な面でデジタル化・ペーパーレス化が進んできているところですが、「環境は整っているが、実施されていないもの」「今後、実施に向けて努力する必要があるもの」も複数あります。（別紙資料参照）各項目について、必要性や実現に向けた課題等を明らかにし、更なるデジタル化・ペーパーレス化を推進します。

### 5. 生成AIの活用

令和5年7月4日に文部科学省が示した「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を受け、令和5年8月にガイドラインの内容に関する教職員研修を実施しました。その後、調査研究を進め、令和6年8月に生成AI活用に関する教職員研修を実施した上で、2学期から生成AIの活用を開始しています。当市独自の「生成AIの利用に関するガイドライン」の策定を行うとともに先進事例等を参考にして、校務での生成AI活用を推進します。

# 大分市における校務DX



保護者

- ◎学校給食費・徴収金管理システム (R4)
- ◎欠席連絡のオンライン化 (R4)
  - ※時間外受付可
- ◎調査・アンケート (R3)
  - ※Forms使用

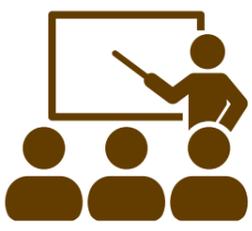
- 配付物等の一斉配信
- クラウドサービスの活用
  - ・保護者からの資料受付
  - ・日程調整
- オンラインでの説明会等



児童生徒

- 《家庭学習》
- ◎端末持ち帰り (R3)
  - ◎クラウドサービスを用いた各種連絡 (R3)
  - ◎デジタルドリル等の活用 (R5)

- 《授業等での活用》
- ◎クラウドサービスの活用 (R3)
    - ・調査、アンケート
    - ・授業中の小テスト
  - ◎パスワードの管理



教職員

- 検討事項の事前意見聴取
- 職員会議のハイブリッド実施
- クラウドを活用した行事等の共有
- 校内研修等のハイブリッド実施
- 校内研修等でのオンデマンド視聴

- ◎クラウドサービスの活用 (R3)
  - ・資料共有によるペーパーレス化
  - ・情報共有や連絡
  - ・作成した教材等の共有
  - ・校内研修等での協議
  - ・調査、アンケート
  - ・学校連絡システムの導入 (R4)
- ◎デジタル教材の活用 (R7予定)

- △クラウドサービスの活用
  - ・各種事務手続き資料
  - ・長期休業中の動静調査



学校

- △FAXの不使用
- △押印廃止



学校支援センター

- △事務手続きのペーパーレス化
- △FAXの不使用
- △押印廃止

- クラウドサービスの活用
  - ・お知らせや相互情報共有
- ◎クラウドサービスの活用 (R3)
  - ・調査等の共有、実施、集計

- 【教職員研修】
- ◎オンライン型研修の実施 (R3)
    - ※Zoom、オンデマンド
  - ◎端末利用・持ち込み
  - ◎クラウドサービスの活用 (R3)
    - ・研修資料等のアップロード
    - ・リフレクションの実施、集計



校務支援システム

- ◎県内統一の統合型校務支援システム運用 (R4)
- △次世代型校務支援システムの導入 (R9予定)

○新入学児童の名簿情報提供

○新入学児童の名簿情報登録



教育委員会

- ◎個人メールアドレスの付与 (R3)
- ◎端末・クラウド環境の整備 (R3)

「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の項目をもとに作成

- ◎すでに実施しているもの ※( )内は開始年度
- 環境は整っているが、実施されていないもの
- △今後、実施に向けて努力する必要があるもの